

公民科倫理授業細目 2018

1 「倫理」とはどのような授業か —— 授業担当者より

「倫理」と「道徳」は、ほぼ同じ意味をあらわす言葉だと考えられている。しかし、高等学校公民科倫理という科目は、何も疑うことなく一般的に「善」とされることを行い、さらには、自分が正しいと思う判断を他者にも「正しい」が故にそれを強要するような生徒を育てるための科目ではない、と私は考えている。それよりむしろ、「善」とはなにか？ 「正しい」という判断はどのような種類の判断なのか？ ということについて自分の頭で考えて、自分なりの答えを出して、その結果、自分の行動に反映することができるような生徒を育てる科目である、と考えている。

たとえば、今話題の戦前の教育基本方針、『教育ニ関スル勅語（いわゆる教育勅語）』の何が間違っていたのか。それは、「忠」という徳目で天皇を長とする国家に対する忠誠心を、「孝」という徳目で父親を長とする家族に対する孝行心を強要していたことである。その結果として、個人の人権よりも国家集団や家族集団を優先する全体主義的価値観が「善」とされ、ナショナリズムや軍国主義に疑いを差し挟む者は「非国民」として排除される教育が行われたのだ。つまりは、偏狭な価値観を強要する教育は間違っていたということが、戦後になって確認されたわけで、現在では自分が国家のために命を尽くしたいと思うのは個人の自由だが、それをすべての国民に強要する教育は認められないということだ。だからこそ、私は高校生の価値観や価値判断は他人に押しつけられるべきものではなく、自分自身で形成するべきものだと考えている。

ここで、価値判断とは何か、ということについて考えてみよう。判断には、「事実判断」と「価値判断」の区別がある。それは、「事実」と「意見」の区別に対応する。「今日の茂原の天気は雨だ」という判断は、北海道出身者であろうと沖縄出身者であろうと、真か偽かの実事確かめることができる判断である。一方、「今日の茂原は涼しくてよい」という判断はそれを感じる人によって真偽が明らかに変わる、価値に関わる判断である。同じように、ペーパーテストに出題される問題は、〇か×かを確かめることができる事実判断だが、小論文などで要求される意見は、〇か×かを確定できない価値判断であるといえる。たとえば「快樂の量を数値化することは正しい」という価値判断を含んだ言明については、本当に数値化できるかどうか、それが正しいかどうかなどの点で、事実か否かを判断することは困難である。しかし、「功利主義者ベンサムは快樂の量は計算可能だと述べた」という言明は、彼の著作を調べれば、真実の事実かどうかを簡単に明らかにすることができる。

ここで、事実判断と価値判断の違いを整理してみよう。

事実判断： その判断が真か偽かを経験的に検証することができる判断

例1) 映画「ララランド」はアカデミー作品賞を受賞した。 例2) プラトンは民主政治を否定した。

価値判断： 誰かが何かについて積極的あるいは消極的の評価を与える評価判断

例3) この映画はよい。 例4) 無知な民衆が支配する民主政治は国家に正義をもたらすことができない。

※ 価値の判断は快樂（快・苦）、利益（利・害）、正義（正・邪）などを基準にして、伝統・慣習、内部の信念、他者の評判や流行をよりどころにして行われる。また、義務（～すべきである）や命令（～せよ）という判断は規範的判断と言われ、これも真偽を一面的・一義的に検証することはできない。

注意しなければならないのは、倫理の教科書の中にも事実判断と価値判断が混在しているということだ。さらには、残念ながら教科書の記述の中にも、高校生向けに簡略化されているがゆえに事実誤認的になってしまっている部分もある。「真理」とは何かというテーマについてはミシェル・フーコーの思想を扱う際に触れるが、教科書に書かれていることは所詮「教科書的な真理」にすぎない。それは、広いジャンルの読書が続けていれば容易に分かってくることだ。生徒の皆さんは、教科書の意見やたくさんの思想家や宗教家の意見、そして私片岡の意見を噛み砕き、咀嚼しながら、のんびりと焦ることなく自分自身の人間観や世界観そして価値判断のための枠組みを選び取っていただけたら、と思う。そして、どんなテーマであっても臆することなく論じることができるために、教養という工具箱のツールを増やして健全な批判精神を磨いて欲しい。

2 公民科「倫理」の目標

2.1 文部科学省により学習指導要領に定められた目標

【目標】

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、**他者と共に生きる主体としての自己の確立**を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる（2009・平成21年版太字は旧版への追加箇所）。

人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、**生きる主体としての自己の確立**を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。（1999・平成11年版太字は旧版への追加箇所）

2.2 この授業での目標

1. 高校卒業、あるいは大学受験に必要な程度の「倫理」的知識と教養を習得する。
2. 自分自身の世界観と思想の形成のもととする。つまり自らの行動原理の選択肢や思索の素材となりうるような概念の枠組みを利用し活用できるようになるため、実践的に学習内容を理解する。

3 使用教材等

3.1 教科書・資料集

【教科書】『倫理』東京書籍

【資料集】『テオリア 最新倫理資料集 新版初訂』第一学習社

3.2 推薦図書

【超推薦図書】

『倫理用語集』山川出版社：センターの問題はこの範囲から出題されます。座右の書として常に読んでください。

「片岡の倫理授業プリント」：(旧版のすべてのプリントを下のウェブサイトからPDF形式のファイルでダウンロードできます)

(以上4つをしっかりとやればセンターで80点以上とれます)

【その他推薦図書】

『センター試験への道 倫理 一問題と解説』山川出版社：センター過去問を单元ごと掲載、授業・補習の後に！

『改訂版センター試験 倫理の点数がおもしろいほど取れる本』村中和之著、中経出版：センター必出ポイントを非常に分かりやすく読みやすく解説して予習復習に適している

『センター試験のツボ 倫理』中川雅博著、桐原書店：9割の得点を目指す場合、有効なテキスト

「片岡の定期考査過去問及び解答解説」：同じく下のウェブサイトからダウンロードできます。

4 授業担当者

教科担当：片岡 勝規

URL：http://k-katsunori.la.coocan.jp/ 【片岡勝規の公民科倫理教科研究室】

E-mail：ktok-katsunori@nifty.com（質問等、メールにはあなたの氏名を明示してください）

倫理、倫理研究、朝と夏季休業中の補習も含めた講座の全構成

内 容	講 座
思想の源流 西洋近現代思想（近代に少し入るだけ）	倫理授業（2単位）
青年期の課題と自己形成・現代社会の特質と人間 日本の思想（朝課外ではやりません）	倫理研究授業（2単位） 課外「倫理研究」木曜7：30～8：10（5月～10月）
これしかない！「西洋近現代思想」特講	倫理夏季ゼミ（夏季・冬季休業中） 16時間実施予定（160分×6コマ）
迷わず「日本思想」特講	倫理夏季ゼミ（夏季・冬季休業中） 9時間実施予定（90分×6コマ）
センター倫理過去問演習	木曜7：30～8：10（10月～1月）

5 学習計画（予定）

「倫理」（2単位）学習内容	時期	「倫理研究」（2単位）学習内容	時期
0 ガイダンス公民科「倫理」とは何か 2 思想の源流（17項目） 21 古代ギリシアの思想 211 神話から哲学へ 212 ソフィストとソクラテス 213 プラトン 214 アリストテレス 215 ヘレニズム時代の思想 22 キリスト教の思想と信仰 221 ユダヤ教・旧約聖書の思想 222 イエスの教え 223 原始キリスト教 224 キリスト教の展開 23 仏教の思想と信仰 231 仏教以前の思想 232 仏陀の教え 233 仏教の展開 24 古代中国の思想 241 古代中国思想と諸子百家 242 儒家思想とその発展 243 朱子学と陽明学 244 道家（老荘）思想 25 イスラームの思想	前期	1 青年期の課題と自己形成 101 人間とは何か？ 文化とは何か？ 102 欲求と適応 103 パーソナリティの形成 104 青年期の心理と課題 5 現代社会の特質と人間 501 現代社会の家族と女性の社会進出 502 高齢社会 503 情報社会 504 都市化・組織化と大衆化社会 505 国際化社会 506 環境倫理 507 生命倫理	前期
4 西洋近現代思想（17項目） 41 近代思想の誕生 410 中世末期西ヨーロッパの時代と思想 411 ルネサンス 412 宗教改革 413 近代自然科学思想 414 イギリス経験論 415 大陸合理論 416 モラリスト 42 近代思想の展開 421 社会契約説 422 啓蒙思想 423 カントとドイツ観念論 424 功利主義 utilitarianism 43 現代の思想 431 実証主義・進化論 432 社会主義 433 プラグマティズム 434 実存主義（実存哲学） 435 現代のヒューマニズム 436 20世紀後半の思想	後期	3 日本の思想（13項目） 301 古代日本の思想と文化 302 仏教伝来、奈良・平安仏教 303 鎌倉仏教 法然 親鸞 一遍 304 鎌倉仏教 栄西・道元と日蓮 305 日本儒学 朱子学派 林羅山 306 日本儒学 中江藤樹 伊藤仁斎 307 国学 本居宣長 308 農民・町人の思想 309 洋学・啓蒙思想 310 自由民権運動・国家主義 311 日本のキリスト教・社会主義・大正デモクラシー 312 近代的自我と文学 313 西田幾多郎と和辻哲郎	後期

6 先輩たちからのメッセージ

「2018年長生高校センター倫理受験者のアンケート」より

昨年の3年の先輩たちから後輩の皆さんへのアドバイス&メッセージです

- ・ テストや過去問の丸付けの後にハズレ選択肢まで理解すると得点が上昇する。
- ・ 倫理はただ人とキーワードを覚えても高得点は出せないなので、最終的には人物の思想のどういうことを考えているかまでしっかりと覚えておいた方がいいと思います。
- ・ 課外に出てプリントを貰うのをオススメします。センター前にすごく役立つ。
- ・ 補習に出てすべての範囲授業は受けた方がいいと思う。プリントコンプリートでファイリングして持っておくと安心だし、予想問題は一つ当たるだけでテスト中テンションが上がるのでやっておくと良い。
- ・ キーワードだけを無理に記憶しようとするよりは、参考書の文章を何度も読んだりして、理屈を理解することで自然に覚える方が効率が良いと思いました。でも、あまり頻出ではない人物の場合は、よく出るキーワードだけでも点は取れると思います。
- ・ センターで倫理・倫政を使う人は片岡先生について行けば必ず良い点が取れます！センター直前にセンターの出題予想をまとめてもらえたので、本当に助かりました。高得点を狙って頑張ってください。
- ・ 社会はやっぱり勉強量！
- ・ 人物はキーワードだけでなくその内容まで把握しよう。最後は自分と片岡先生を信じて冷静に。
- ・ 一問一答は早めにやって最後まで続ける。社会科は所詮暗記科目なので最後まで覚えた人勝ちです。つべこべいう前に暗記。
- ・ 授業で終わらない部分は補習などに参加するといいでしょう。一度理解した上で参考書などを見ると吸収力が違います。片岡先生の予想問題は必ず目を通しましょう。
- ・ 少しずつでも良いので倫理、倫理政経をセンター、もしくは2次で使う人はインプットとアウトプットを繰り返して、早めに知識をつけた方がいいです。倫理課外はなるべく受けるが吉だと思います。やれば絶対伸びます。諦めないで最後まで頑張ってください。
- ・ 理系国公立の倫政受験者ですが、理系は社会をおろそかにしがちで、直前で焦ることが多いです！！（私の友人がそうでした）逆に言えば点差がつきやすいのが社会だと思います。倫政は知識によるので、やった分だけ点数は伸びます。ぜひ、毎日コツコツやって見てください。必ず点数源になります！！
- ・ 片岡先生の授業、センター予想は素晴らしいので、しっかり授業を聞いて頑張ってください！
- ・ 早めに受験科目を決めて、夏からできるだけ課外に出たほうがいいです。理系の倫政受験者は社会に時間をあまり取れないと思うので、早め早めに覚え始めたほうがいいと思います。（課外で全部理解して覚えるくらいの気持ちが大変）倫理は理解し始めたら本当に楽しくなったし、やっぱり片岡先生の授業はすごいです。いろいろな人の思想に触れられたし、ほかの教科に出てきたりもするし…。とにかく片岡先生を信じて、1年間頑張れば大丈夫！！ だと思います。
- ・ 片岡先生のセンター前予想のところはしっかり聞いておくべきです。センター当日の朝はプリントを赤シートで隠して最後の確認を忘れずに。（社会科目は間の休み時間なしで続くので）
- ・ 倫理を軽視して曖昧な知識だけで受けようとするとうまい目にあいます。覚えることは正確に細かく覚えるまで反復しましょう。
- ・ 過去問は模試と全然質が違うので、できるだけ早めに解いておいたほうがいいと思います。

「二元論」で考えよ —— 対概念・対義語で考える

「本質」と「現象」を意識せよ —— 抽象化と具体化の思考

「弁証法」で考えよ —— 生成変化は自己否定だ

キーワードと概念を押さえよ —— 単独の術語と意味の構造的なまとめ

すべての学習は暗記から始まる —— 道具は所有していなければ使用できない